中川議員と日本共産党議員団で予算組み替え動議提出

(仮称)厚生産業会館、新水族博物館は見直しを！

3月定例市議会は3月26日、すべての案件の審査を終え、閉幕しました。

今定例会で最も注目された(仮称)厚生産業会館と新水族博物館建設問題については会派「みらい」の中川幹太議員と日本共産党議員団の4人で予算組み替え動議を提出しましたが、賛成は動議を提出した4人と櫻庭節子議員の5議員にとどまりました。市民の疑問の声が高まるなか、もう少し多くの議員から賛成してもらえるかなと期待したのですが、残念です。

(仮称)厚生産業会館のイメージ図

予算の組み替え動議を提出したのは合併後の議会では初めてのことです。

動議は、「平成27年度上越市一般会計予算のうち、(仮称)厚生産業会館の建設事業にかかる歳出予算及び新水族博物館の整備事業にかかる歳出予算の削減を行い、組み替えて再提出することを求める」というもの。4人の議員で提案理由などを練り上げ、中川議員から本会議で説明してもらいました。

同議員は、「(仮称)厚生産業会館の建設については、高田区地域協議会で当初から事業の進め方について疑義の議論があり、平成24年には、当時の基本構想に対して不適当とする答申があった。その後も、同協議会では、全ての委員から『もっと議論が必要』、『建設を進めるのは時期尚早』という意見が出され、『時期を含め、より慎重に審議した上で事業を進めること』が総意だ。また、その後の日本共産党議員団の独自のアンケート調査でも、2400件を超える回答のうち、約7割が『示された基本設計での建設計画はいったん白紙に』という意見だった。このように、新年度は、実際の事業推進の前に、市民がはたしてこの事業に今の形で合意しているのかを何らかの方法で改めて確認する必要がある」とのべました。

新水族博物館整備事業費については、今年に入り建設費が約40億円以上も増える見通しであることが明らかになっています。中川議員は、「当市の今後の財政を考えれば、いったん立ち止まって、増額しない方法を模索する必要がある」と訴えました。

上越市立水族博物館

国の悪政から市民の暮らしを守る姿勢を

平成27年度上越市一般会計予算の討論で、日本共産党議員団の平良木議員は、まず、「暮らしを守る最前線に立つ自治体行政としては、市民負担の軽減と行政サービスの充実をとことんはかり、国の悪政から市民の暮らしを守る姿勢を徹底するという予算立てが必要」とのべました。

そのうえで、「住宅リフォーム助成制度の継続など、地域経済の活性化をはかる積極的な取り組みもあることは評価できる」としながらも、「多くの公共施設の利用料や、放課後児童クラブの利用料など、市民の負担を数々の場面で増やす予算である」「一方、(仮称)産業厚生会館や新水族博物館の建設事業費においては、市民合意のないまま、後出しジャンケンのような形で事業費をふくらませ、一方では日常的な行政サービスにおいて市民に我慢を強いるというやり方には、大きな異議を唱える」などとのべ、反対しました。

【ミツマタ】ジンチョウゲ科の落葉低木。名前の通り、枝が3つに分かれています。写真はまだ咲き始めの頃のものです。古くから和紙の原料とされてきました。写真は吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1703　2015.4.2

発行・編集 前日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見てある記」は ← こちら

橋爪法一　検索

春よ来い

第三五一回　背中流し

ずっと前から思っていたことがあります。お風呂に入ったときの背中流しのことです。一度でいいから、自分の子どもや孫から背中を流してもらいたいものだと思い続けてきました。

チャンスは昨年暮れにやってきました。金沢市に住んでいる次男夫婦が帰省した際、一緒に長峰温泉ゆったりの郷へ出かけることになったのです。この日、次男は私の仕事場の移転の手伝いを半日くらいかけてやってくれました。そのお礼を兼ねて、夕方、妻とともに次男夫婦を誘って長峰温泉ゆったりの郷へ行ってきました。

仕事で疲れているし、早く食事をと妻が言うので、先にゆったりの郷の中の「味彩」で夕食をとりました。私と妻と次男の連れ合いはカキフライ定食、次男はトンカツ定食を注文しました。次男は、食べながら、「この間は午後六時に仕事にとりかかり、終わったのは深夜の二時過ぎだった」などと、自分の医療機器の仕事について語ってくれました。

夕食が終わってからはお風呂です。私は次男とともに、妻は次男の連れ合いとともに入りました。

次男と風呂に入るのは実に二十数年ぶりです。洗い場で、次男は「一緒に入ったのは小学生の時までだ」と言っていました。私は上の子どもだけでなく、次男とも一緒にお風呂に入っているはずなんですが、どういうわけか具体的なエピソードが何一つ思い浮かばず、ぼんやりした記憶しかありません。

最初、大きな浴槽の端っこの方で次男と並んで湯につかりました。首まで湯につかりながら横に並ぶ気分は良いものでした。ここの温泉はちょっとぬるぬるしていて、湯を口に含むとしょっぱい味がする温泉です。この日、お風呂の温度は、ややぬるめでしたので、「ゆっくり入らないと温まらないよ」と私は次男に言いました。

しばらくしてから、お湯が浴槽に流れ込んでいる場所の近くへと移動しました。先に移動したのは次男です。泳ぐような仕草をしながら、そこまで行くと、「お湯の出ているところも同じ温度だよ」と教えてくれました。この場所でも親子並んで足を伸ばしました。

同温泉の浴室には大きな浴槽の他に小さなお風呂がふたつあります。そのひとつはラジウム鉱泉と同じ泉質にしているお風呂です。もうひとつは鳥のとさかに含まれているというヒアルロン酸が入っているお風呂です。次男は「お父さん、ヒアルロン酸というのは化粧品に入っている有名なものだよ」と言いましたが、私には初めて耳にするものでした。肌に良い物質だそうです。

大きな浴槽につかっているとき、ついつい足や背中などを掻いてしまいます。浴槽から出て、再び洗い場に戻ると、次男が「背中が赤くなっているよ」と教えてくれました。私はシメタと思いました。「かゆくてね、ちょいと背中、流してくれや」と頼みました。次男はタオルに石鹸を含ませると、背中をごしごしやってくれました。強くもなく弱くもないほどよい加減のこすり方で、とてもいい気持ちでした。

最近、次男から、子どもができたかもしれないという、うれしいニュースが伝わってきました。その時ふと思い出したのは、私に背中を流してもらい喜ぶ祖父・音治郎の姿です。普段、手の届かないところをこすってもらうことの気持ち良さと、それを孫にやってもらう快感、数年後、私も味わうことができるかも知れません。

市議10年を振り返り最後の挨拶

市議会最終日。辞職を許可され、本会議場にて、市議として最後の挨拶をさせていただきました。

私は合併に伴う市議増員選挙で初当選して以来、10年間市議として活動をしてきました。この間は、議会改革が本格化した時代でした。質問するだけでなく、条例などの提案を議員が力を合わせて行ってきました。議会基本条例や中山間地域振興基本条例、空き家対策条例を制定する作業に係わることができて、勉強になったと振り返りました。

他党派議員とは本会議場や委員会室でぶつかり合う場面もありましたが、議場を一歩出れば、そこでは人間的な交流もありました。初めて議長選挙に出たときも、議場を出てから、思想的には私と最も遠い位置にある人が「もう少しでおまんに投票するところだった」と言って激励してくださいました。これも強く印象に残った思い出でした。市民、議員、行政職員などお世話になったみなさんに心から感謝します。

上越地域各消防署における　空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。１時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は１時間当たり0.016～0.16μSv（マイクロシーベルト）だとのことです。

	3月18日（水）	4月1日（水）
上越南消防署	０．０４０	０．０３６
上越北消防署	０．０４７	０．０５７
新井消防署	０．０４７	０．０５３
頸北消防署	０．０５３	０．０４３
頸南消防署	０．０４７	０．０４３
東頸消防署	０．０４０	０．０５０
高士分遣所	０．０４０	０．０４７
名立分遣所	０．０５０	０．０５０

見応えのある新潟の風景画

お昼休みを利用して上越高校の大口満先生の絵画展を観てきました。

雪の季節の高田の雁木通りの風景、笠島など海岸部の懐かしい風景などが描かれていました。魅力いっぱいの作品ばかりです。

絵画展は本町３丁目の大島画廊にて開催中。4月5日までです。